

◆ 絆… ◆

縁あって県の高等学校文化連盟（高文連）の仕事をさせていただいている。その経緯については[高文連HP](#)でも触れているのでご覧いただければ幸いである。

そこにも書かせていただいたけれども、本県で文化部のインターハイともいわれる全国高等学校総合文化祭（全国高総文祭）が開催されたのが2014年のこと。本県においても、規定19部門（演劇・合唱等）の舞台発表と展示発表の他に4つの協賛部門の活動が披露された。この協賛部門は、現在でも継続して高文連活動の中核を担っていただいている。特に、その後も県の高総文祭「音楽会」で毎年披露されてきた「特別支援学校部門」の生徒の皆さんの演奏…、先生方と一緒に作り上げるその演奏は、とても心温まるものであるのだけれど、今年度は「音楽会」を中止したために聴くことが叶わず、寂しい思いをしてきた。

そんな中、その「特別支援学校部門」の皆さんが、素晴らしい[映像作品](#)を提供してくださった。

本来であれば昨年12月に土浦市民ギャラリーで開催予定であった部門大会が、COVID-19感染拡大の影響から、開催日直前に中止せざる得なくなってしまった。開催を信じて直前まで頑張ってきた各学校から選ばれた生徒実行委員の思いや、制作した作品をwebを通して紹介する「もう一つの部門大会」として開催した果実である。

もう一つの部門大会

○令和2年度 生徒実行委員会「思いを伝えようプロジェクト」（約3分間）
～部会に参加しての思いや感想を生徒実行委員の言葉で紡いだ動画です～



今年度末（～3月31日）までの期間限定の配信であるが、じっくりご覧になっていただきたい。生徒の皆さんの、この大会にかける熱い「思い」が伝わってくる。特に、コミュニケーションロボット「オリヒメ」を介した生徒間交流は大きな財産になったと感じた。

「遠いところにいるけれども 心はいつも繋がっているよ」

動画の中の一人の生徒さんがこう伝える。ほんとだね、離れていても繋がっているよね…

特別支援学校の“絆”を感じた一時であった。